

# 新型コロナノ肺炎禍に向けた御親示

「分ち持とう 他者への想い」

本願寺法主

本願寺文化興隆財団理事長

東山浄苑東本願寺苑主

大谷暢順

中華人民共和国武漢で発生した新型コロナノウイルスが世界中に蔓延し、多くの尊い生命を奪いました。謹んで哀悼の意を表すとともに、私は佛教者として犠牲者への読経を毎日、続けております。

さて、平時でも利己心を押さえて生きていくのは難しい事です。ましてや、非常時になれば、人々の心は尖り、顔から笑みが消え、不安と苛立ちがつのります。

釈尊がお示しされたようにこの世は一切皆苦いっさいがいくです。然し、同時に私達日本人は釈尊の教えである「慈悲の心」を以て他者と睦まじく暮らしてきました。

無明の世だからこそ、他者に想いを寄せるこの精神を互いに分ち持ち、人類共通の試練を乗り越えていこうではありませんか。